

# あなたの「げんき」と「えがお」のために みんなでちからをあわせます



### こどもの健康の回復及び増進と、 福祉の向上のため、最善の医療を提供します。

神奈川県立こども医療センターは、1970年に設置された小児専門病院です。こ ども専門病院、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設の3つの施設からなり、 病気や障がいのあるこどもたちに医療と福祉を一体として提供している総合 医療・福祉施設です。

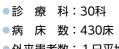
総合周産期医療センターとして認定されており、妊娠期(胎児期)から小児期、成 人移行期に至るまで、こどもの成長発達に応じて、連続した医療を行っています。

また、小児がん拠点病院、アレルギー拠点病院、メディカルゲノムセンターとし ても機能しています。各専門診療科、医療技術部門、看護局、施設が協力してチー ム医療を行うとともに、こどもの発達に則した包括医療、高度医療を提供してい ます。センター敷地内には県立横浜南養護学校があり、入院・入所中のこども たちも教育を受けることができます。

長:黒田達夫 療 科:30科

●外来患者数:1日平均約700人 ●職 員 数:約900名(常勤のみ)

[医師:110名 看護師:600名 その他:190名]







### こどもの最善の利益を考え、看護を提供します

- ●16病棟、中央手術室、外来、看護教育科の計19看護単位があります。
- ●看護体制はパートナーシップ・ナーシング・システム®を導入しています。(一部のセクションは除く)
- ●患者さんやご家族とともに看護師が話し合い、情報を共有しながら看護計画を立案・実施します。
- 系統的な研修、専門性を深められるような教育体系を作り、キャリア支援に努めています。
- 専門看護師や認定看護師が、看護外来、救急医療、集中ケア、皮膚・排泄ケア、緩和ケア、感染対策等に リーダーシップを発揮しています。
- ●勤務体制は、2交替・3交替・変則勤務体制を併用し、働きやすい勤務体制を整えています。
- 保育士を配置し、看護師と連携しながらこどもたちの発達段階に合わせた関わりを大事にしています。

### こどもの「懸命さ」に触れ、自分自身の成長へ

#### "あなたの「げんき」と「えがお」のために みんなでちからをあわせます"

これは、「わたしたちのちかい」という、こどもに向けた当センターの理念です。小児期発症の疾患には、長期にわ たり療養を続けなければならないものも多くあります。長期療養を続ける中「えがお」や「げんき」になる理由は、 こども一人ひとりで異なり、また成長発達を続けるこどもへは、看護だけでなく包括的な医療が必要となります。

「わたしたちのちかい」には「一人ひとりの最善を考え、チームで医療を提供していく」という 意味が込められています。わたしたちは、こどもとそのご家族が困難を乗り越 え、家族の中で「そのこどもらしく」成長発達していけるような看護の提供に 努めています。看護の仕事は、辛く厳しく感じることもあるかもしれませんが、 こどもの「懸命さ」に触れることで、自分自身も成長します。小児・母性看護 師として、こどもの「げんき」と「えがお」のために一緒に働きましょう。





#### 外来

23の診療科があり、年間約16万人の 患者さんが受診します。看護外来や、 みらい支援外来を開設しており、多職 種で協力し、疾患や障がいを持つ患者 さんやご家族が、地域でその家族らし く生活できるよう、支援をしています。

#### 外科系病棟

発達段階別に3つの病棟があり、検査 や手術を受ける患者さんが多く入院し ます。発達途中にある小児期の患者さ んにとって、手術や入院がもたらす影 響は様々です。一人一人の成長発達に 合わせたプレパレーションを行って、 前向きに治療に取り組めるように支援 しています。

# こども医療センターは こんなところ



#### 内科系病棟

小児がんや慢性疾患の患者さんが多く 入院しています。入院期間が長い患者 さんも多いため、成長発達が阻害され ないよう、リハビリ部門や院内学級と 連携しています。クリーン病棟は、病 棟全体がクリーンルームになってお り、免疫力が低下している患者さんで も、プレイルームで遊べるようになっ ています。

### 33301944

ボランディア宝 医療情報管理室

看護教育科

**感染和**衛室

臨床研究所

医療安全推進室 治験管理室



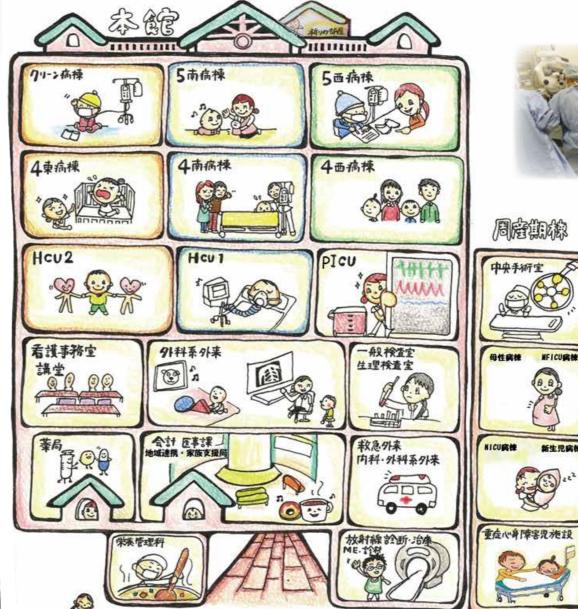
#### 集中・救急医療部門

PICU・HCU1 (呼吸器系)・HCU2 (循環器系) の3つ の病棟があります。高度な救急医療を担うため、多くの 医療機器があり、些細な変化を見逃さない細やかな観察 が求められます。集中治療の中でも、子どもらしく過ご

#### 総合周産期医療センター

母性病棟・MFICU病棟、NICU病棟、新生児病棟があります。母性病棟・ MFICU病棟には、妊婦検診で気がかりを指摘された方や、切迫早産で治 療が必要な方が入院しています。分娩室はNICUと直通エレベーターで繋 がっており、出産後すぐに赤ちゃんの集中治療を始めることができます。 NICUでは集中治療と両立して、家族の始まりを支えるケアにも力をいれ ています。状態が落ち着いた赤ちゃんは新生児病棟に移動し、家族と一緒 に退院の準備を行います。







#### 中央手術室

年間約3200件の手術 が行われています。子 どもが怖がらずに手術 に臨めるよう、術前訪 問でのプレパレーショ ンや家族同伴入室、お もちゃ・DVDを活用 して緊張を和らげる工 夫なども行<mark>っていま</mark>

# 

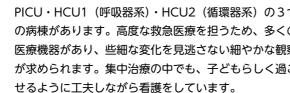


### 施設リハビリ棟

重症心身障害児施設・肢体不自由児施設があります。 長期に入所するため、多職種と協働し、社会性や生 活習慣を身に付ける事や、個性を大切にその子らし く生活できることを目指しています。

### こころの診療病棟

様々なこころや発達の状況により、身体症状や生活の困 りごとなどが現れた患者さんが入院しています。日常生 活全般が治療・看護となり、入院生活や他者との関わり を通して、情緒面の成長発達ができるよう、チームで協 力して支援しています。





# こども医療センターの目指す看護

### こどもにやさしい看護 それはこどもの権利が守られていること

こども医療センターを利用する子ども達は、成人とは異なり、成長発達の途中で、疾患や障 害を持ちます。疾患や障害は、子どもの日常生活に変化をもたらし、成長発達にも大きな影 響をも与えます。子どもの権利を守るということは、疾患や障害があっても、その子らし くいられることを意味しています。私たちは、色々な職種や立場の人と連携し、こどもに やさしい看護を目指して、様々な取り組みを行っています。



# 学校生活も大切にしていま

入院中も様々な方法で学習を継続してい ます。退院して地元校へ戻る際に不安が ないよう、ご家族や他職種と連携して、 早期から復学に向けた準備を行います。 パンフレット作成や復学カンファレンス を行う他、お友達にどのように病気のこ

とを伝えたいかを一緒 に考えたり、必要な手 技獲得のための練習を したり、支援内容は 様々です。退院後、元 気に通学出来ていると 聞くと、とても励みに



# こどもが学び続けられるよう

長期入院を要する学童期の患者さんは、

なります。

### 5 階西病棟 多田 真悠子

## リソースナース

変化する医療現場の最前線で働く看護師たちを、専門的知識や技能で支援し、 よりよい看護が提供できるよう努めています。

- ●小児看護専門看護師
- ●皮膚・排泄ケア認定看護師
- ●緩和ケア認定看護師
- ●がん性疼痛看護認定看護師
- ●感染管理認定看護師
- ●糖尿病看護認定看護師
- ●新生児集中ケア認定看護師
- ●手術看護認定看護師
- ●小児救急看護認定看護師
- ●小児プライマリケア認定看護師
- ●認定遺伝カウンセラー
- ●国際認定ラクテーションコンサルタント
- ●NST専門療法士
- 認定小児アレルギーエデュケーター
- ■認定重症心身障害看護師
- 認定臨床輸血看護師

リソースナースからのメッセージ

### 種と連携・調整を行えるロールモデルを目指して

こどもの手術は全身麻酔が多く、患者の意識が消失するため、手術室看護師は患 者の傍にいる代弁者として、医療チームに提言し擁護する存在です。

術後に、手術創以外の傷を生じないようにケアすることが大切になります。例え ば、体位作成時は一瞬の介入の有無がポイントなので、みんなが同じように介入 できる支援をしています。

術前では、手術を受ける患者・家族は様々な思いや不安を抱え ているため、術前訪問で軽減を図ります。入室から麻酔導入ま ではディストラクションの実践を積極的に行います。

周術期を安心して過ごせるように患者・家族に寄り添い多職種 と連携・調整を行えるロールモデルを目指して活動しています。 この病院で手術をしてよかったと言われるように、こどもの笑 手術看護認定看護師 顔のために、一緒にがんばりましょう。



田中 磨穂

### 地域連携

退院支援在宅医療支援室では、医療ケアを必要とするこ どもが、スムーズに在宅へ移行できるよう、地域の病院 や訪問看護、保健師などと連絡調整を担っています。実 際に患者さんのお宅へ訪問することもあり、安全に楽し く在宅医療ができるよう、ご家族と一緒に考えます。



### 小児がん相談支援室

小児がんの患者・家族は、病気や治療から様々な苦痛を 経験したり、難しい意思決定が必要となることもありま す。こどもと家族にとってより良いQOLが得られるこ とを目指し、様々な相談に対応しています。

### 他の機関とも連携を取り、 相談支援を行っています

小児がん相談室の相談員として、所定の研修を受けた専従看護 師が、他の連携病院や教育機関、行政とも連携をとり相談支 援を行っています。小児だけでなく、AYA世代(思春期・若

年成人) の患者さんも対象とな り、発達段階やライフステージ に応じた課題への支援や、長期 フォローアップに関連した支援 も行っています。



小児がん相談支援室 大倉 貴和

### 移行期支援・みらい支援外来

初めは、ご家族が中心になってこどもの病状理 解や治療選択を行っていたとしても、こどもの 成長に合わせて、子ども自身が病気を理解し、 病気と付き合いながら生活できる力を養う必要 があります。成人診療科への移行支援、みらい 支援外来などで、小児医療のその先に繋がるサ ポートをしています。

### 緩和ケアサポートチーム

こどもと家族の「つらさ」を緩和するための、様々な取 り組みをおこなっています。

ファシリティドッグ「アニー」もチームの一員で、看護 師であるハンドラーともに、ベッドサイドへ訪問したり、 処置や検査・リハビリに付き添ったりします。「アニー と一緒ならがんばれる」と話すこども達も多くいます。



# 教育体制

幅広い視野と温かい人間性をもち、患者の最善の利益を考えて行動することのできる看護師を育成します

## 看護師としての自己実現

ステップ-V

●機構本部研修【問題解決・リーダーシップ】 ●機構本部研修【臨床倫理】

●機構本部研修【マネジメント】

-ステップ·III

- ●リーダーシップ研修【中級】
- ●倫理研修【中級】
- ●コミュニケーション研修
- ●ヘルスアセスメント研修
- ●リーダーシップ研修【初級】 ●倫理研修【初級】

-ステップ-Ⅱ

ステップ-I

●採用時研修

- ●臨床研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- ●3ヶ月研修
- ●6ヶ月研修
- ●9ヶ月研修
- ●11 ヶ月研修

●メンバーシップ研修

### 新人看護師からメッセージ

### 先輩の丁寧な指導のサポートで 安心して働くことができました

入職直後は分からないことだらけで不安も多かったですが、先 輩方の丁寧な指導・サポートにより安心して働くことができ、 少しずつ患者さんやご家族との関わりにも自信を持てるように なりました。特に新人サポーターの竹谷さんは日々些細なこと でも声を掛けて下さったので、私の方からも

相談しやすかったです。 患者さんやご家族にとっての「最善の看護」 の提供のために、引き続き看護師として成長 できるよう頑張ろうと思います。



小林 こころ

#### 新人サポーターからのメッセー

# 自身も一緒に成長しています

新人看護師を一番近くでサポートする立場として、自分が1年 目だった当時の気持ちを思い出しながら関わることを意識しま した。

着実に成長していく小林さんの姿を近くで見ることができて、 嬉しかったです。

私自身新人サポーターの役割をもらったのは 初めてで、指導する難しさを感じることもあ りましたが、先輩方にもアドバイスをもらい、 小林さんと一緒に成長させてもらうとても良 い経験になったと思います。



08

### エキスパートナースコース修了者メッセージ

### こどもと家族の 頑張る力を支えたい

病気や障害を抱えながらもこどもたちの頑張る力を日々感じる 中で小児看護を多角的視点で学び、深めたいと思い、エキスパー トナースコースを受講しました。講義や研究を通して、自分の 看護観と向き合い、こどもたちの最善の看護とは何かを考え、 実践してきました。

これからも医療チームとして病気や障害を抱 えるこどもと家族を地域で安心して生活して いけるようサポートしていきたいと考えてい



5階南病棟 新村 有彩

### エキスパートナースコース

小児看護のエキスパートを育成する ためのコースを開講しています。院 内研修でステップⅢ以上を取得した



看護師が対象です。2年間のコースで、小児看護 に関する様々な専門領域の講義を受け、看護研究 にも取り組みます。コース修了者は、修了バッジ をつけており、院内の各所でリーダーシップを発 揮しています。

#### 採用時研修

職員として必要な知識を身につけ、専門職業人と しての自覚を持つため、「看護局の理念や方針」「職 業人としての心構え」「教育体制」「小児看護に必 要な知識」等の様々な講義を受けます。

#### 3ヶ月研修 ●

07

「小児の観察と看護」を学 びます。研修後は臨床で実 践を積み重ね、ステップ アップを目指します。

#### 6ヶ月研修

役割研修

●既卒者研修

●新人サポーター研修

●チーム力活用研修

臨床で実践してきた観察と看護を共有 し、学びを深めます。臨床研修期間の終 了に合わせて、6か月間の振り返りやレ クリエーションを行い、後半に向けてモ チベーションを高めていきます。

機構本部研修

●医療安全研修

●人材育成研修

●新任主任研修



#### 9ヶ月研修

様々な事例をディスカッ ションし、看護倫理につ いて学びます。

#### ||ヶ月研修

1年間を振り返り、学びを統 合します。「私が大切にした い看護」について、ポスター セッションで発表します。●

04

05

06

80

09

10

12

01

02

03

### 臨床研修I

臨床看護師の動きを知 るために、先輩看護師 について、シャドウ研 修を行います。

### 臨床研修Ⅱ

セクション配属後、集合研 修で講義を聞き、OJTで 先輩と一緒に基本的な知識 と技術を学びます。



#### 臨床研修Ⅲ

6月から9月までを臨床研修Ⅲと し、患者さんを受け持ちながら、 必要な知識・技術を学びます。こ の時期に夜勤開始を目指します。



看

### わたしたちが

# こども医療センターを選んだ理由

#### 家族やこどもが笑顔で退院していく姿 を見ることにやりがいを感じています

学生の頃、こどもが好きで小児看護に携わりたいと思っていました。当院は全国から様々な疾患の患者さんが集まります。 そのような環境で高度な小児看護を学び、 実践したいと考え入職を決めました。

私は今、循環器疾患を対象とする病棟で 働いています。術後、徐々に回復してい くこどもたちの姿が見られること、家族 やこどもが笑顔で退院していく姿を見る ことにやりがいを感じています。

心疾患の複雑さや言葉でのコミュニケーションが行えない年齢のこどもたちとの関わりに難しさを感じています。しかし院内研修や先輩方からのサポートを受け、日々看護師として成長できているのではないかと感じています。



ハイケア・救急病棟 2 勝岡 日向 2022年入職

## 小児看護を深め、こどもやご家族の力になりたい

こどもの持つ力の素晴らしさやご家族を 含めた看護に関心があり、自分の出生病 院でもあるこども医療センターで小児看 護を深め、こどもやご家族の力になりた いと思い入職しました。

乳幼児内科では長期療養を送る方が多く、幼いながらも辛い治療と向き合うこどもの姿に心が痛む思いになることもありますが、こどもたちのたくましい姿や可愛い笑顔、ご家族からの温かいお言葉、病棟の先輩方からのサポートに日々支えられています。

こどもの個別性や各ご家庭の生活背景を 考えながら寄り添い、少しでも入院中の 不安が軽減できるよう今後もチームで支 援していきたいと考えています。



5階南病棟 伊藤 愛華 2021年入職

#### ステップアップを目指す仲間と出会い、 刺激を受けながら働いています

元々他病院のNICUに勤務していましたが、赤ちゃんだけでなく家族全体を支えることを大切にしている神奈川県立こども医療センターのNICUで学びたい、と思い転職を決めました。

実際に配属され働いてみると、高度な医療はもちろんのこと、希少な疾患を持つ 患者さんも多く、まだまだ学ぶことばか りですが、同じようにステップアップを 目指す仲間と出会い、支え合い刺激を受けながら働くことができています。

重症な患者さんも多く入院しており、辛い場面もありますが、1日1日を大切に今しかないかけがえのない時間を家族と過ごし頑張っている姿を見て、日々やりがいを感じています。



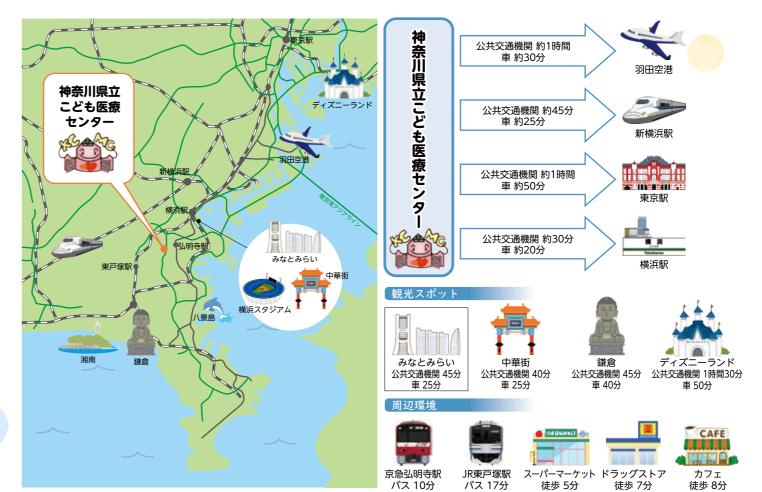
NICU病棟 小島 彩 2022年入職(既卒)



ロング日勤終了

就寝準備・寝かしつけ

### アクセス 周辺環境



### 多様な働き方の支援があります -

育児と仕事の両立をしている看護師がたくさん働いています。復職支援として、産休・育児中のママの会を開催しています。

主な育児支援制度:育児休業、育児短時間勤務制度、短時間正規職員制度、院内保育

### ママさんナースからのメッセージ

# 院内保育園の24時間保育も利用しながら、

産休・育休を経て、こどもが1歳3ヶ月のときに重心施設に復職しました。育児時間や育児部分休業の制度を活用しながら、夜勤を含めて働いています。夜勤帯は院内保育園の24時間保育も利用しながら、家族のサポートが困難な部分も手厚く補ってたらっています。これませれた場合を

てもらっています。こどもも慣れた場所での お泊りなので頑張ることができています。子 育てと仕事の両立は大変ではありますが、同 じ部署のスタッフの協力もあり、無理なくラ イフワークバランスがとれていると思います。



重症心身障害児施設 北村 友美

### 看護師寮

病院に隣接した医療従事者宿舎(独身寮)があります。 間取り1Kタイプ、バストイレ別。使用料月15,240円。 遠方の方優先、居住期間は最大3年です。





寮 外観

寮 室内

夜勤開始 2交替 19:0

夕食・内服

10

#### 09



### 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 TEL 045-711-2351(代)

神奈川県立こども医療センター 公式サイト kcmc.kanagawa-pho.jp



採用に関する情報はこちら 神奈川県立病院機構 看護職募集サイト

https://kanagawa-pho.jp/kango/index.html

